

# 50cc SPORTS CATALOG

RACER REPLICA / ROAD SPORTS / CRUISER / OFF ROAD / LEISURE / CLASSICAL SPORTS



50cc SPORTS CATALOG



▲レプソルカラー('99)

## Honda NSR50 ('95~'99)

エンジンや足回りを一新した最終型。エンジンにはインテークチャンバーを装備し、ラジエータとクラッチの容量も拡大。パワー特性とスロットルレスポンスの向上を実現すると共に、真夏の走行にも不安のない耐久性が与えられた。

**SPEC** (数値は'97モデル) ●水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒  
●全長×全幅×全高: 1,580×600×935mm ●軸間距離: 1,085mm  
●最高出力: 7.2ps/10,000rpm ●最大トルク: 0.65kg-m/7,500rpm  
●燃料タンク容量: 7.5L ●乾燥重量: 83kg ●シート高: 670mm

HO-E-019-S,V,X



## Honda NS-1 ('95~'98)

RVFイメージのフェアリングとデュアルヘッドライトを採用し、よりスポーティで精悍な外観にモデルチェンジ。又、出力特性も見直され、低回転域から高回転域まで、扱い易くスポーティな乗り味となった。

**SPEC** (数値は'97モデル) ●水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒  
●全長×全幅×全高: 1,905×670×1,080mm ●軸間距離: 1,295mm  
●最高出力: 7.2ps/10,000rpm ●最大トルク: 0.65kg-m/7,500rpm  
●燃料タンク容量: 8.0L ●乾燥重量: 92kg ●シート高: 752mm

HO-E-025-T,V,W



## Honda NSR50 ('87~'88)

ワークスレーサー NSRをダウンサイジングしたミニレプリカ。NS50F系水冷2ストエンジンに専用シリンダーや6速ミッションを組み込み、ミニバイクレースのスタンダードとなった。

**SPEC** (数値は'87モデル)  
●水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒  
●全長×全幅×全高: 1,580×625×910mm  
●最高出力: 7.2ps/10,000rpm  
●最大トルク: 0.65kg-m/7,500rpm  
●燃料タンク容量: 7.5L ●乾燥重量: 76kg

HO-E-019-J



## Honda NSR50 ('89~'94)

従来型に比べ、アッパーカウルがスラントノーズとなり見た目がシャープに。チャンパーもテールパイプが長いタイプに変更となり、'93からはアルミ製6本スポークホイールも装備した。

**SPEC** (数値は'89モデル)  
●水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒  
●全長×全幅×全高: 1,580×625×910mm  
●最高出力: 7.2ps/10,000rpm  
●最大トルク: 0.65kg-m/7,500rpm  
●燃料タンク容量: 7.5L ●乾燥重量: 77kg

HO-E-025-M,P,R



## Honda NS-1 ('91~'94)

ダミータンク部に24Lのメットインスペースを持つ異色の50ccスポーツ。ハイパワーなエンジンをツインチューブフレームに搭載し、前後ディスクブレーキ等の豪華装備を誇る。

**SPEC** (数値は'92モデル)  
●水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒  
●全長×全幅×全高: 1,905×670×1,080mm  
●最高出力: 7.2ps/10,000rpm  
●最大トルク: 0.65kg-m/7,500rpm  
●燃料タンク容量: 8.0L ●乾燥重量: 92kg

HO-E-025-M,P,R



## YAMAHA TZR50R ('93~'97)

'93にフルモデルチェンジが図られ、新設計のクランクケースリードバルブエンジンにはセルスターターも採用。さらに新型ラジエータには125cc並みのウォーターポンプが採用され、冷却効率を大幅に向上させた。

**SPEC** (数値は'97モデル) ●水冷2ストロークエンジンリードバルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,880×605×1,025mm ●軸間距離: 1,250mm  
 ●最高出力: 7.2ps/10,000rpm ●最大トルク: 0.63kg-m/7,500rpm  
 ●燃料タンク容量: 10.0L ●乾燥重量: 84kg ●シート高: 760mm

YA-E-018-P,R,S,V



## YAMAHA TZR50R ('94~'97)

'94に登場した前後12インチタイヤクラスのレプリカ。YSRから50%も剛性を高めた新型フレームにモトクロッサー・YZ80ベースの水冷ユニットを搭載。ミニサイズながらTZR50Rと同様セルスターターを装備している。

**SPEC** (数値は'97モデル) ●水冷2ストロークエンジンリードバルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,615×615×960mm ●軸間距離: 1,095mm  
 ●最高出力: 7.2ps/10,000rpm ●最大トルク: 0.63kg-m/7,500rpm  
 ●燃料タンク容量: 9.3L ●乾燥重量: 78kg ●シート高: 670mm

YA-E-019-R,V / YA-E-020-R



## YAMAHA TZR50 ('90~'92)

市販レーサー・TZ50と共同開発されたクラス初のフルサイズレーサーレプリカ。全回転域で加速性能を重視した出力特性が与えられ、50ccモデルでは初となるマイコン制御デジタル進角点火方式が採用された。

**SPEC** (数値は'90モデル) ●水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,875×600×1,025mm ●軸間距離: 1,250mm  
 ●最高出力: 7.2ps/9,000rpm ●最大トルク: 0.65kg-m/7,500rpm  
 ●燃料タンク容量: 10.0L ●乾燥重量: 83kg ●シート高: 760mm

YA-E-018



## YAMAHA YSR50 ('86~'92)

前後12インチタイヤを採用した新しいカテゴリーのミニレプリカとして'86に登場。各地でワンメーカーレースが開催される等、爆発的に販売台数を伸ばし、後にマールポロカラーやテック21カラーもラインナップされた。

**SPEC** (数値は'86モデル) ●空冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,575×635×930mm ●軸間距離: 1,055mm  
 ●最高出力: 7.0ps/8,000rpm ●最大トルク: 0.59kg-m/8,500rpm  
 ●燃料タンク容量: 8.0L ●乾燥重量: 75kg ●シート高: 650mm

YA-E-013



▲ウォルターウルフカラー('87)

## SUZUKI RG500 ('83~'99)

レーサーイメージの角型フレームに、新設計となる水冷2ストロークパワーリードバルブエンジンを搭載し、'83に登場。その後、マイナーチェンジを繰り返しながら、長年に渡り生産が続けられたロングセラーモデル。

- SPEC** (数値は'94モデル) ●水冷2ストロークパワーリードバルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,880×655×1,015mm ●軸間距離: 1,235mm  
 ●最高出力: 7.2ps/7,200rpm ●最大トルク: 0.72kg-m/7,000rpm  
 ●燃料タンク容量: 11.0L ●乾燥重量: 73kg ●シート高: 737mm

SU-E-001-H,J,L,M,S / SU-E-016-J,R



## SUZUKI GAG ('86)

NSR50やYSR50に先駆け'86に登場したミニレーサーレプリカ。アルミ製ステップやツインチューブフレーム、放熱効果の高いフロントディスクブレーキ、リアのシングルダンパーサス等、走りを意識した本格的な装備を誇る。

- SPEC** (数値は'86モデル) ●水冷4ストロークOHC2バルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,540×870×610mm ●軸間距離: 1,080mm  
 ●最高出力: 5.2ps/7,000rpm ●最大トルク: 0.57kg-m/6,000rpm  
 ●燃料タンク容量: 7.0L ●乾燥重量: 64kg ●シート高: 610mm

SU-E-014-G



## APRILIA RS50 ('94~'98)

イタリアのオートバイメーカー「アプリリア」の名車。ハイパワーなミナレリ製水冷2ストロークエンジンを高剛性フレームに搭載。120km/hフルスケールメーターからそのポテンシャルの高さがうかがえるマシン。

- SPEC** (数値は'95モデル) ●水冷2ストロークケースリードバルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,875×700×1,090mm ●軸間距離: 1,280mm  
 ●最高出力: 8.8ps/9,750rpm ●最大トルク: 0.77kg-m/8,500rpm  
 ●燃料タンク容量: 12.2L ●乾燥重量: 85kg ●シート高: 780mm

AP-E-004-R,S,T,V,W,X



## APRILIA RS50 ('99~'06)

'99にフルモデルチェンジが図られ、アルミフレームが新採用となり、走りの徹底追求からリアサスを従来の片持ちタイプから両持ちタイプに変更。又、外装等もGPマシンと同様、流線型のデザインとなっている。

- SPEC** (数値は'03モデル) ●水冷2ストロークケースリードバルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,920×675×1,115mm ●軸間距離: 1,280mm  
 ●最高出力: 未発表 ●最大トルク: 未発表  
 ●燃料タンク容量: 13.0L ●乾燥重量: 89kg ●シート高: 810mm

AP-E-004-Y,1,2,3,4,5



## YAMAHA RZ50 ('98 ~ '07)

90年代後半に当時のトレンドであったネイキッドスタイルを50ccで具現化しながら、70年代モーターサイクルの雰囲気を醸し出す外観、優れた実用性などを兼ね備えたベストセラーモデル。

**SPEC** (数値は'99モデル) ●水冷2ストロークスリードバルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,805×615×970mm ●軸間距離: 1,215mm  
 ●最高出力: 7.2ps/10,000rpm ●最大トルク: 0.63kg-m/7,500rpm  
 ●燃料タンク容量: 10.0L ●乾燥重量: 80kg ●シート高: 745mm

YA-E-022-W,Y,6

## Honda エイプ50 ('01 ~)

コンパクトな車体、扱い易いワイドハンドル、前後ワイドタイヤによって、シンプルで親しみやすいスタイリングを実現。発売と同時に、入門バイクやファッションアイテムとして若年層を中心に多くのファンを獲得した。

**SPEC** (数値は'02モデル) ●空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,710×770×970mm ●軸間距離: 1,185mm  
 ●最高出力: 3.7ps/7,500rpm ●最大トルク: 0.37kg-m/6,500rpm  
 ●燃料タンク容量: 5.5L ●乾燥重量: 75kg ●シート高: 715mm

HO-E-002-1~HO-E-003-1~HO-E-103-2/8



## Honda NS50F ('87 ~ '90)

フルサイズスポーツ・MBX50Fの後継モデルとして'87に登場。流麗なエアロフォルムに前後17インチホイールやサイレンサー別体式チャンバーを新採用し、走りの鋭さを向上させたモデル。

**SPEC** (数値は'87モデル)  
 ●水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,855×630×1,065mm  
 ●最高出力: 7.2ps/8,000rpm  
 ●最大トルク: 0.65kg-m/7,500rpm  
 ●燃料タンク容量: 10.0L ●乾燥重量: 79kg

HO-E-018-L

## SUZUKI ウルフ50 ('90 ~ '99)

レーサーレプリカ・RG50Fをベースとしたネイキッドスポーツ。装備や諸元に大きな違いは無いものの、テーパー形状のフレームカバーや安全性の高い大型ヘッドライトを装備。

**SPEC** (数値は'94モデル)  
 ●水冷2ストロークパワーリードバルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,880×655×995mm  
 ●最高出力: 7.2ps/7,200rpm  
 ●最大トルク: 0.72kg-m/7,000rpm  
 ●燃料タンク容量: 11.0L ●乾燥重量: 73kg

SU-E-017-L,M,P,S

## SUZUKI GS50 ('05 ~ '07)

往年の名車"GS"の名を冠し、2005年に登場。バーディー系のメッキシリンダーエンジンに1ダウン3アップの4速リターンミッションを搭載。機動性の高い前後14インチホイールも採用。

**SPEC** (数値は'05モデル)  
 ●空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒  
 ●全長×全幅×全高: 1,730×685×930mm  
 ●最高出力: 5.0ps/8,500rpm  
 ●最大トルク: 0.44kg-m/7,000rpm  
 ●燃料タンク容量: 8.0L ●乾燥重量: 69kg

SU-E-005-5,6



▲MBX50

◀MBX50F

## Honda MBX50/F ('82~'87)

'82に50ccフルサイズスポーツとして登場。水冷2ストエンジンには6速ミッションが搭載され、ブーメランコムスターホイールなど足回りも豪華。画像はビキニカウル装備のMBX50F。

### SPEC (数値は'85モデル)

- 水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,920×675×1,105mm
- 最高出力：7.2ps/8,500rpm
- 最大トルク：0.65kg-m/7,500rpm
- 燃料タンク容量：11.0L ●乾燥重量：82kg

HO-E-015-C,E,G



## Honda モンキー R ('87)

'87に登場したモンキーのレーシングバージョン。サイレンサー別体式のアップマフラーやハイグリップタイヤ、スローハンドルを装備し、エンジンも専用チューンが施されている。

### SPEC

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,510×610×800mm
- 最高出力：4.5ps/8,500rpm
- 最大トルク：0.42kg-m/6,500rpm
- 燃料タンク容量：7.0L ●乾燥重量：67kg

HO-F-016-H



## Honda モンキー RT ('88)

レーシーなスタイルで人気となったモンキーRに続き、'88に発売。モンキーRに比べ、オフロード志向が強められ、アップハンドルやダート走行に対応したパターンのタイヤを装着。

### SPEC

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,510×710×900mm
- 最高出力：4.5ps/8,500rpm
- 最大トルク：0.42kg-m/6,500rpm
- 燃料タンク容量：7.0L ●乾燥重量：69kg

HO-F-017-J



## Honda マグナ50 ('95~'07)

フロントのブーメランコムスター、リアのディッシュホイール、テールエンドが跳ね上がったメガホンマフラーの装着等、カスタムイメージ満載の「ロー&ロング」スタイル。

### SPEC (数値は'95モデル)

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,960×760×945mm
- 最高出力：3.9ps/8,000rpm
- 最大トルク：0.38kg-m/6,000rpm
- 燃料タンク容量：8.0L ●乾燥重量：87kg

HO-E-027-S,X,1,3,4,5,7



## Honda ジャズ ('86~'96)

ダブルクレードルフレームに信頼性の高いカブ系ユニットを搭載。大胆に寝かし込まれたロングフォークによって、ロングホイールベースとした本格派ローライダー。

### SPEC (数値は'88モデル)

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,910×775×995mm
- 最高出力：4.0ps/7,500rpm
- 最大トルク：0.43kg-m/6,000rpm
- 燃料タンク容量：6.0L ●乾燥重量：77kg

HO-E-017-H,J,N,P,S,V



## APRILIA クラシック ('92~'01)

250ccクラス並の大柄なボディに水冷2ストロークユニットを搭載。リアのディッシュホイールやサイレンサーのメッキカバーが存在感を引き立てるラグジュアリーモデル。

### SPEC (数値は'95モデル)

- 水冷2ストロークケースリードバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：2,162×700×1,130mm
- 最高出力：未発表 ●最大トルク：未発表
- 燃料タンク容量：12.0L ●乾燥重量：85kg

AP-E-005-S,T,V,W,X



## Honda XR50 モタード ('05 ~ '08)

エイブ50をベースにタンクシュラウド、フロントバイザー、アップマフラー等を採用し、スーパーモタードのイメージとしている。又、足回りには前後ディスクブレーキを装備。

### SPEC (数値は'06モデル)

- 水冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,785×765×1,000mm
- 最高出力：3.3ps/8,000rpm
- 最大トルク：0.33kg-m/5,000rpm
- 燃料タンク容量：5.7L ● 乾燥重量：79kg

HO-E-005-5,7



## KAWASAKI KSR-1 ('90 ~ '99)

オンとオフのトップライダーが競争する「スーパーバイカーズ」レースがモチーフ。水冷2ストエンジンやクラス唯一の倒立サスにより、シーンを選ばないオールラウンドな走りが可能。

### SPEC (数値は'99モデル)

- 水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,660×720×960mm
- 最高出力：7.2 ps/8,000rpm
- 最大トルク：0.65kg-m/7,000rpm
- 燃料タンク容量：8.0L ● 乾燥重量：77kg

KA-E-006-R,T,W



## YAMAHA TDR50 ('88)

新感覚のデュアルパーパスとして登場したTDR250と共通のスタイリングを持つシリーズの末弟モデル。前後12インチタイヤ、ディスクブレーキを採用し、様々な路面状況に対応する。

### SPEC (数値は'88モデル)

- 水冷2ストロークケースリードバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,695×720×1,045mm
- 最高出力：7.2ps/10,000rpm
- 最大トルク：0.58kg-m/8,000rpm
- 燃料タンク容量：8.0L ● 乾燥重量：80kg

YA-E-016-J



## Honda CRM50 ('88 ~ '99)

CRM250R譲りのスタイルで、足回りにはφ35mmフロントフォークやリザーバータンク付リアショックを採用。強力な水冷2ストロークエンジンと合わせて、クラスオーバーの走破性を誇る。

### SPEC (数値は'88モデル)

- 水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,880×760×1,100mm
- 最高出力：7.2ps/9,500rpm
- 最大トルク：0.63kg-m/7,500rpm
- 燃料タンク容量：5.2L ● 乾燥重量：76kg

HO-E-021-J,L,N,P,R,V



## YAMAHA DT50 ('82 ~ '97)

RZ50系の水冷ユニットを搭載した本格派モトクロス。混合気の充填効率を高めるYEISを装備し、低速域から元気に回る性能が幅広い層に支持された。輸出モデルは'99まで生産。

### SPEC (数値は'97モデル)

- 水冷2ストロークピストンリードバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,905×790×1,100mm
- 最高出力：7.2 ps/8,500rpm
- 最大トルク：0.62kg-m/8,000rpm
- 燃料タンク容量：8.5L ● 乾燥重量：76kg

YA-E-008-M,N,P,T / RY-E-001-X



## SUZUKI ハスラー ('81 ~ '95)

スズキ・オフロードマシンの名門「ハスラー」の名が最後まで受け継がれたモデル。フロント21インチ、リア18インチのフルサイズホイールやリアのフルフローターサス等、本格装備を誇る。

### SPEC (数値は'94モデル)

- 水冷2ストロークパワーリードバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：2,045×810×1,135mm
- 最高出力：7.2ps/7,000rpm
- 最大トルク：0.72kg-m/7,000rpm
- 燃料タンク容量：7.0L ● 乾燥重量：77kg

SU-E-004-P,S



▲モンキー・  
リミテッド('84)

## Honda モンキー ('67~)

'61の東京モーターショーで発表されたレジャーバイクが起源。40年以上という長い歴史に裏付けられた確かな性能でロングセラーを続ける。豊富なカスタムパーツも魅力。

### SPEC (数値は'03モデル)

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,365×600×850mm
- 最高出力：3.1ps/7,500rpm
- 最大トルク：0.32kg-m/6,000rpm
- 燃料タンク容量：4.5L ●乾燥重量：58kg

HO-F-001/002/003/004/005/006 等



## Honda ゴリラ ('78~'88,'98~'07)

基本パーツをほぼモンキーと共通としながら、ハンドルの折り畳み機構を搭載せず、燃料タンク容量をモンキーの2倍近い9リットルまで拡大したほか、幅広シートで快適性も向上。

### SPEC (数値は'03モデル)

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,365×625×880mm
- 最高出力：3.1ps/7,500rpm
- 最大トルク：0.32kg-m/6,000rpm
- 燃料タンク容量：9.0L ●乾燥重量：62kg

HO-F-007/008 等



## Honda ダックス ('69~'81,'95~'98)

モンキーに続くレジャーバイクとして登場。'79を最後に一旦生産を終了するが、'95に初期型を踏襲したスタイルで復刻。12V化やMFバッテリー採用など電気系の充実が図られた。

### SPEC (数値は'96モデル)

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,510×590×980mm
- 最高出力：2.6ps/7,000rpm
- 最大トルク：0.29kg-m/4,500rpm
- 燃料タンク容量：2.5L ●乾燥重量：72.3kg

HO-F-011-S



## SUZUKI バンバン50 ('73~'84)

極太低圧タイヤを装着したバンバンシリーズの末弟。パワフルな2ストロークエンジンを搭載し、走破性の高いレクタングルタイヤと併せてフィールドを選ばない力強い走りを実現。

### SPEC (数値は'79モデル)

- 空冷2ストロークローターディスクバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,615×670×985mm
- 最高出力：4.0ps/6,000rpm
- 最大トルク：0.50kg-m/5,500rpm
- 燃料タンク容量：3.5L ●乾燥重量：64kg

SU-E-002



## Honda R&P ('77~'81)

「ライド&プレイ」を意味するネーミングが与えられ、走る機能だけでなく、ステッカー等で自分だけの一台を作る楽しみが追加されたモデル。搭載ユニットはデチューンされたCB50系。

### SPEC (数値は'80モデル)

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,715×760×985mm
- 最高出力：4.3ps/9,000rpm
- 最大トルク：0.37kg-m/7,000rpm
- 燃料タンク容量：6.0L ●乾燥重量：85kg

HO-E-001



## Honda モトラ ('82)

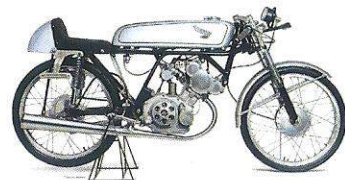
前後に大型キャリア、ブロックタイヤを装備し建設機械のようなフォルムを持つモデル。3速ミッションには高速/低速の2段副変速機が組合せられ、登坂能力23°の強力な走破性を誇る。

### SPEC (数値は'82モデル)

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,655×740×975mm
- 最高出力：4.5ps/7,500rpm
- 最大トルク：0.46kg-m/7,500rpm
- 燃料タンク容量：4.5L ●乾燥重量：76kg

HO-E-014-C





▲モチーフとなったレーサーの  
カブリングCR110('62)



▲ドリーム50  
スペシャルエディション('98)

## Honda ドリーム50 ('97~'99)

'62に発売された市販レーサー・CR110をモチーフに細身のロングタンク、シートカウルを装備した60'sレーサーレプリカ。又、スタイルだけではなく、レーサーと同様のハイメカ・DOHC4バルブヘッドが採用されている。

**SPEC** (数値は'97モデル) ●空冷4ストロークDOHC4バルブ単気筒  
●全長×全幅×全高: 1,830×615×945mm ●軸間距離: 1,195mm  
●最高出力: 5.6ps/10,500rpm ●最大トルク: 0.42kg-m/8,500rpm  
●燃料タンク容量: 6.2L ●乾燥重量: 81kg ●シート高: 740mm

HO-E-100-V / HO-E-101-W



## Honda ベンリィ CD50S ('96~'07)

ビジネス車・ベンリィ CD50をベースとしたファクトリーカスタム。'95東京モーターショーに当時のカスタム需要を反映し、出展された試作車と同じく、クラシカルなシングルシートが装着されている。

**SPEC** (数値は'97モデル) ●空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒  
●全長×全幅×全高: 1,805×645×950mm ●軸間距離: 1,170mm  
●最高出力: 4.0ps/7,000rpm ●最大トルク: 0.44kg-m/6,000rpm  
●燃料タンク容量: 6.0L ●乾燥重量: 71kg ●シート高: 748mm

HO-E-028-T,W,X,4,5,7



## YAMAHA YB-1FOUR ('00~'06)

排出ガス規制により生産終了となったクラシカルスポーツの定番・YB-1にクリーンな空冷4ストロークエンジンを搭載し'00に登場。操作性を重視した4速リターンミッションを採用。

**SPEC** (数値は'00モデル)  
●空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒  
●全長×全幅×全高: 1,785×655×960mm  
●最高出力: 4.0ps/7,500rpm  
●最大トルク: 0.40kg-m/6,000rpm  
●燃料タンク容量: 7.2L ●乾燥重量: 83kg

YA-E-221-Y,1,6



## SUZUKI コレダ スポーツ ('96~'00)

スズキ黎明期の名車・コレダの名が冠されたビジネス車・K50をベースとしたストリートモデル。ロングシート、前後メッキフェンダーを採用する等、各部ディテールアップが図られた。

**SPEC** (数値は'99モデル)  
●空冷2ストロークローターディスクバルブ単気筒  
●全長×全幅×全高: 1,815×705×925mm  
●最高出力: 4.5ps/6,500rpm  
●最大トルク: 0.56kg-m/5,000rpm  
●燃料タンク容量: 6.5L ●乾燥重量: 72kg

SU-E-021-T,W,Y



## Honda ソロ ('03)

バックボーンフレームにリアシングルサスペンションやサドルシートを採用した個性的なモデル。1,285mmのロングホイールベースと大径18インチホイールにより独特の走りを実現。

**SPEC** (数値は'03モデル)  
●空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒  
●全長×全幅×全高: 1,995×710×980mm  
●最高出力: 3.5ps/7,500rpm  
●最大トルク: 0.39kg-m/6,000rpm  
●燃料タンク容量: 4.1L ●乾燥重量: 73kg

HO-E-004-3



## YAMAHA YB-1 ('96~'99)

ビジネス車・YB50をベースに各部にメッキパーツを多用するなどビンテージ風にアレンジ。ヤマハ往年の名車“赤とんぼ”YA-1を彷彿とさせるスタイルからオールドファンにも支持された。

### SPEC (数値は'99モデル)

- 空冷2ストロークローターディスクバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,760×665×960mm
- 最高出力：4.6ps/6,000rpm
- 最大トルク：0.56kg-m/5,500rpm
- 燃料タンク容量：7.2L ●乾燥重量：75kg

YA-E-021-T,V,W,X



## SUZUKI コレダ スクランブラー ('96~'00)

ビジネス車・K50をベースにアップマフラー、前後ブロックパターンタイヤ、フロントフォークブーツを装着し、'60年代スクランブラー風にまとめられたモデル。

### SPEC (数値は'99モデル)

- 空冷2ストロークローターディスクバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,820×705×930mm
- 最高出力：4.5ps/6,500rpm
- 最大トルク：0.56kg-m/5,000rpm
- 燃料タンク容量：6.5L ●乾燥重量：74kg

SU-E-022-T,X



## Honda ベンリイ CL50 ('97~'99)

'60年代にベンリイ・ベースのスポーツモデルとして発売されていた名車を甦らせたモデル。アップマフラーやブロックパターンタイヤに加え、専用設計のタンクや前後フェンダーを採用。

### SPEC (数値は'99モデル)

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,820×725×1,035mm
- 最高出力：4.0ps/7,000rpm
- 最大トルク：0.44kg-m/6,000rpm
- 燃料タンク容量：5.8L ●乾燥重量：74kg

HO-E-047-V,X



## Honda ベンリイ CD50 ('68~'03)

'60年代から車体基本構成を大きく変える事無く、長きに渡り生産が続けられたロングセラーモデル。エンジン関連から外装まで豊富なカスタムパーツが発売されている。

### SPEC (数値は'97モデル)

- 空冷4ストロークOHC2バルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,805×700×1,020mm
- 最高出力：4.0ps/7,000rpm
- 最大トルク：0.44kg-m/6,000rpm
- 燃料タンク容量：6.0L ●乾燥重量：74kg

HO-E-014-S,W,X,4,5,7



## YAMAHA YB50 ('73~'05)

'73に旧モデル・FB50から車名変更し、YBとなって以来、ヤマハを代表する実用車として長きに渡りラインナップ。'00には、YB-1と同様に4ストローク化された。

### SPEC (数値は'99モデル)

- 空冷2ストロークローターディスクバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,795×720×1,030mm
- 最高出力：4.6ps/6,000rpm
- 最大トルク：0.56kg-m/5,500rpm
- 燃料タンク容量：7.2L ●乾燥重量：75kg

YA-E-012-T,V



## SUZUKI K50 ('67~'06)

頑丈なプレスバックボーンフレームに、'66登場の70K30をルーツとする信頼性の高い空冷2ストロークユニットを搭載し、最終型ではCDI点火に加え、MFバッテリーが採用されている。

### SPEC (数値は'99モデル)

- 空冷2ストロークローターディスクバルブ単気筒
- 全長×全幅×全高：1,815×750×1,010mm
- 最高出力：4.5ps/6,500rpm
- 最大トルク：0.56kg-m/5,000rpm
- 燃料タンク容量：6.5L ●乾燥重量：72kg

SU-E-010-S,Y,5